

校長講話 29

令和5年 11月27日(月)

校長 野尻 史子

おはようございます。

先週土曜日は、岩小祭りでした。たくさん的人がきて、楽しんでいましたね。ゲームも楽しかったですが、校庭の真ん中でおにぎりを食べることはめったにないし、お友達といっしょだし、みんなとても楽しそうでした。準備をしてくださったおうちの方に感謝して、音楽会では、すてきな音楽を楽しんでいただきましょう。。

さて、その音楽会は、いよいよ来週の金曜・土曜ですね。準備はばっちりですか。先週から、本番と同じように体育館で練習するようになりました。先生のいる校長室にも近くなったせいか、特に合奏の時によく聞こえています。

初めのうちは、音が途中で小さくなったり、どんどん速くなっていったりすることもありましたが、今では最後まで途切れることなく、音の大きさもだんだん大きくなったりして、きっと工夫して演奏しているのだろうなあ、と分かるくらい上手になってきた学年もあります。

本番まで、学校のある日は、あと9日です。ここからは、聞いてくださるみなさんに、音楽に乗せてどんな気持ちを届けるか、それも考えながら歌ったり、演奏したりして練習をすると、さらにすてきに聞こえるようになると思います。

いつも応援してくれて ありがとう という 感謝、  
これからも、ずっとがんばるよ という 決意、  
私たちの音楽は、すてきでしょう。たくさん楽しんでください という おもてなしの心など、伝えられたらいいですね。

今週金曜日、12月1日には、6月にいのちのコンサートに来てくださった緑川 るみ先生が、岩小に来てくださり、よくひびくすてきな声の出し方を教えてくださいます。最後の仕上げにぴったりですね。

5・6年生には、音楽会で歌う合唱曲のご指導もしてくださいます。  
コンサートで「たいせつなもの」を歌ってくださった ケンさんは、少し前から入院していて、今回、來ることはお願いできませんでしたが、みんなに会いたいなあ、いっしょに歌いたかったなあと言ってくださっているそうです。

るみ先生に教えていただいて、ケンさんにもみんなの気持ちをこめた歌声が届くといいですね。

どの学年も、最後まで練習にとりくみ、こころとこころをつなぐ、すてきなハーモニーを完成させてください。期待しています。

お話を終わります。